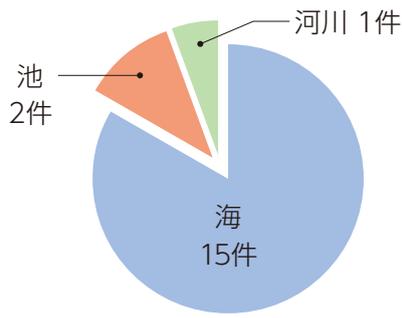


●平成30年中
田原市内水難救助事故の発生場所



水難救助事故について

海水浴シーズンは終わりましたが、キャンプや釣り、サーフィンなど、まだまだアウトドアに出掛けるのに良い季節です。しかし、水の事故は年間を通して発生しており、本市における平成30年中の水難救助事故は18件でした。



本市は18件中15件が海の事故と多く、内訳として釣り人が堤防から落ちる事故やサーフィン中、離岸流などで流される事故が発生しています。

溺れている人を発見したら、すぐに119番に通報して消防隊が来るのを待ってください。泳力に自信があっても、泳いで救助に向かうのは危険です。溺れている人につかまれ、身動きが取れなくなることがあります。ペットボトルやクーラーボックスなどを投げ入れ、溺れている人の浮力を確保しましょう。



特別水難救助隊の発足

119番通報を受信した東三河消防指令センター(豊橋市東松山町)では、通報内容から状況に応じた隊を出动させます。

消防署では海での事故に備え、水難救助資器材の整備を進めてきましたが、太平洋はボートを出せず救助活動に制限がありました。

そこで、7月15日(月・祝)に水上バイクを活用した特別水難救助隊を発足させました。これにより、水上バイクの救助技術を持った機別消防団員と消防職員で協力し、迅速で効果的な救助活動ができるようになりました。



●水上バイク「ワタツミ」で救助に向かう隊員

同時に防災ヘリコプターや漁船など、各機関と協力し救助活動を行います。

活動中はご理解とご協力をお願いします。

水上バイク
ワタツミ導入

特別水難救助隊の発足とともに水上バイク1台を赤羽根分署に配備しワタツミと名付けました。

ワタツミは日本神話に出てくる海の神で、水の事故から皆さんの安心・安全を守るという意味が込められています。

水上バイクは赤羽根分署指令車でけん引し、事故現場の近くにある指定された漁港から出動します。

定員: 3名 全長: 3.35m 全幅: 1.22m 重量: 335kg 最高速度: 110km/h



●新しく配備された「ワタツミ」